

# 自治会対抗 真剣勝負

## もうひとつ駅伝。

今年で50回目を迎えた、

「川東地区駅伝競走大会」。

青山学院の圧倒的な総合優勝で  
幕を閉じた箱根駅伝の興奮も  
まだ冷めやらぬ、

お正月1月4日に行われた、  
もうひとつの駅伝大会。



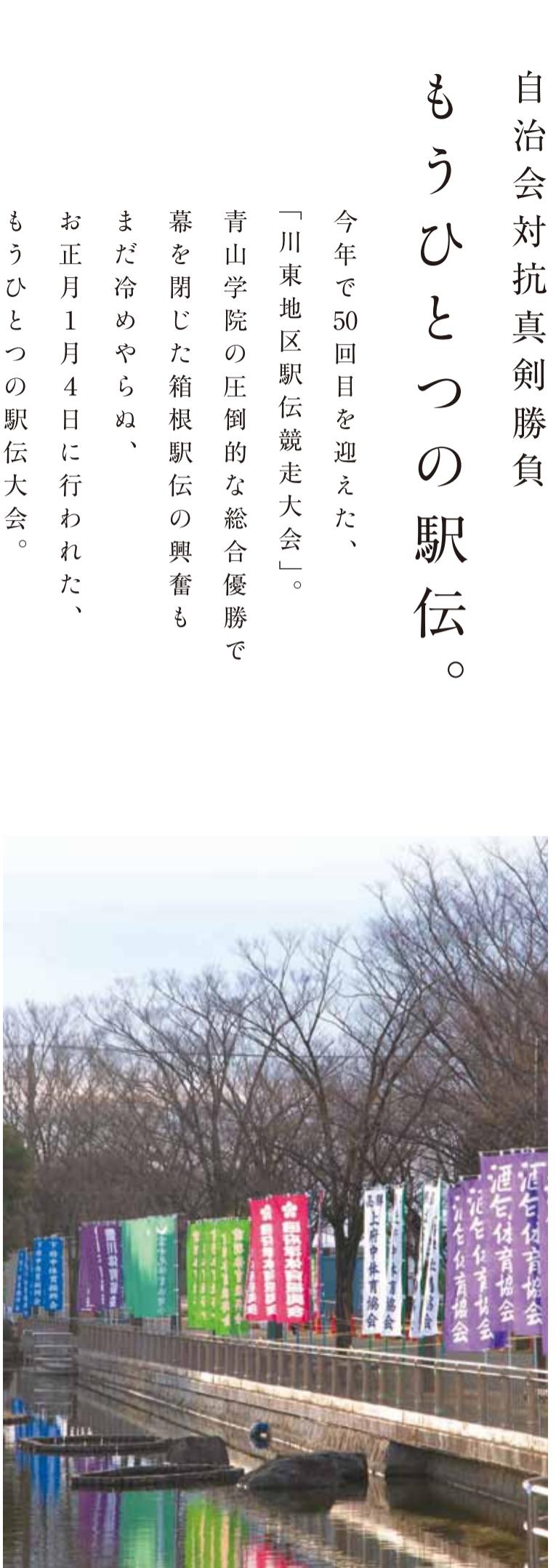
平成27年1月4日、川東（せんとう）地区の自治会対抗駅伝大会、「川東地区駅伝競走大会」が行われた。会場に向かう早朝、車内の温度計は外気温マイナス2度と表示していた。今年の冬は日本列島を何度も寒波が襲い、当日はこれまでで一番寒い寒波が到来するということを、前日の夜のニュースで言っていた。

会場は、東大友にある上府中公園。ここに川東地区から毎年10の自治会が集まり行っている。川東地区というのはどういう意味かと、『川の東』つまり小田原市を酒匂川で分けた場合、東側の地区ということなのだ。まるでパリのセーヌ川の左岸、右岸みたいではないか。コースは上府中公園の中からスタートし、公園の外に出で大回りするように走

り、再び公園の中に戻ってきて今度は公園内を一周してスタート地点に戻り次の走者へタスキを渡す一周約3キロ。走者は1チーム4人。年齢の決まりはないが、第一走者は女性でその他は男性、第四走者は2周走るというのが公式なチームのエントリー資格。つまり、合計15キロを4つの区間に分けて走るということになる。ちなみに、前年までの最高記録は下府中のチームが第48回の時に出した「48分2秒」というタイムだ。



右上/参加は橋北、前羽、下曾我、豊川、下府中、酒匂、曾我、国府津、上府中、富士見の10地区。右下/準備運動も真剣。「寒いから体を冷やさないように！」と言う声が、しきりに色々なところから聞こえていた。左上/記念すべき第50回の優勝は前羽Aチーム！左下/区間賞の表賞も。賞状とメダルが授与される。



川東地区  
駅伝競争大会の風景